

国本中に健あい



ありんこパワー

国本中学校保健だより
性教育特別号 3年生
令和元年11月18日

宇都宮市の中学校では、市の教育委員会主催による性教育サポート事業として、中学3年生を対象に「性教育講演会」を開催しています。この講演会では、産婦人科の医師から直接お話を伺える貴重な機会となっています。本校でも11月8日(金)に実施しました。

「性に関する講演会」

講師 マイクリニックたなか 田中光臣 先生

産婦人科として活躍されて36年目になりました。その間には生命誕生の喜びを感じる事もありましたが、知識がないために辛い思いをした多くの10代の女子を見てきました。そのような悲しい思いを繰り返さないように、性に関する講演会を始めました。正しい知識を身につけてください。



先生の所に来たたくさんのメール相談の事例を見ました。

男子の体の仕組みについての説明がありました。

- 1日に作られる精子は1億くらいです。1回の射精で1～3億の精子が外に出ます。
- 日本の中学3年生の30%は、包茎だと言われています。入浴時に清潔にしましょう。



女子の体の仕組みや月経（生理）について説明がありました。

- 生理痛は我慢せずに痛み止めの薬を利用しましょう。痛みが強くなる前に飲みましょう。
- 病院で相談して生理の日を変更することもできます。
- 初経（初めての生理）が高校生になってもないなら、産婦人科に行きましょう。
- ダイエットや激しい運動のし過ぎで生理が止まってしまうことがあります。3か月以上生理が来なかったら産婦人科に行きましょう。一度生理が止まってしまうと元に戻るのに3年くらいかかります。

欲求とマスターベーションについて

- マスターベーションをしても体に害はありません。
- 生物には生命を維持するために必要な性の欲求があります。カエルの脳では、相手は誰でもよく、ネコの脳では、自分が好きならそれでよいと考えます。それに対して、人間の脳では、お互いが好きで、お互いのことを理解し、同意することを考えます。

性感染症や中絶について

- 性感染症にいろいろな種類や症状があります。パートナーにうつさないためにもきちんと治療をしなくてはなりません。不特定多数の性行為は性感染症にかかりやすくなります。
- 栃木県は10代の人工妊娠中絶が多く、全国ワースト1だった年もあります。（平成9～平成12年）
- 中絶をすると女の子の体や心はとても大きな負担となります。

子どもを産み育てる準備と覚悟ができた場合に、妊娠する資格ができます。

- 望まない妊娠はしない。男女交際をしても嫌ならNOと言える関係を作りましょう。
- 性行為には、妊娠や性感染症の可能性も考えられるので、避妊をすることも大切です。

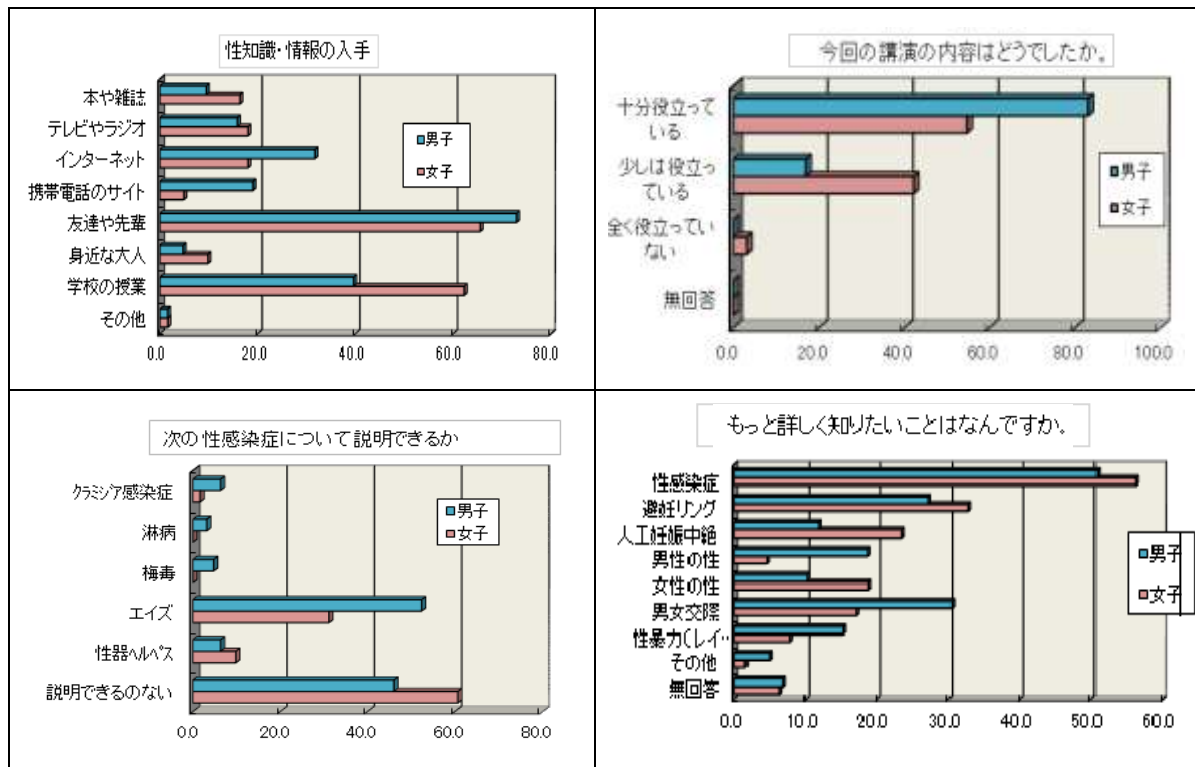


アンケートの結果



事前アンケート

事後アンケート



「性に関する講演会」終了後の感想



性について考えることは、とても大切なことだ。人生に深く関わっていると聞いた。

インターネットなどでは、間違った情報が流れていると聞き、驚いた。性については正しい情報や知識を得ることが大切だと思った。

今までの性教育と違い初めて聞くことが多く、参考になった。

僕は、悩んでいたことがあったが、今日の話を聞いて安心した。

性感染症にたくさんの種類があって驚いた。誰でも感染してしまう恐れがあるから気を付けていきたいと思いました。

男性と女性の体の作りが違い、女性は妊娠出産がとても大変だと思った。人工妊娠中絶は自分にとってもつらいことだし、新しく誕生する命も無駄にしてしまうことだから、性についてよく考えることが大切だと思った。

月経について知ることができてよかった。

栃木県が中絶の数が多いことに驚いた。軽い気持ちで性行為をすることはよくないと思った。



田中先生、講演会ありがとうございました。これからは正しい知識を持ち、性に対する自分の考えをしっかりと持って行動したいと思います。そして、自分と同じように相手の気持ちも考える事が大切だと強く思いました。